

至誠館大学

科目名	保育内容(表現Ⅰ)			コード			
英語表記							
担当教員名	古根川 円			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	必修		
授業概要							
保育内容感性と表現の領域「表現」について目標、ねらい、内容、指導上の留意事項について理解を深める。音楽に関する表現方法を体験しながら、活動のねらいや子どもの学びについて考える。							
到達目標							
①保育内容「表現」の目標、ねらい、内容について、授業で取り上げる体験活動と関連づけて説明ができる ②子どもの気持ちになりきり、各体験活動を行うことができる ③子どもの発達と保育の在り方をふまえ、簡単な模擬保育の計画・実践ができる							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 本授業の内容と進め方について理解する						
第2回	保育の内容理解1 生活の中にあるものを表現として味わう一気付いたり、感じたりする活動一						
第3回	保育の内容理解2 美しさを経験し、美しさを表現する一イメージを豊かにする活動一						
第4回	保育の内容理解3 擬音語を用い伝え合う楽しさを味わう活動						
第5回	保育の内容理解4 表現力による伝達(音物語の創作)						
第6回	保育の内容理解5 表現力による伝達(がらくた楽器による音作品)						
第7回	保育環境と教材1 子どもの歌、歌唱教材について分析する						
第8回	保育環境と教材2 わらべうた、童謡、手あそびうたなど子どもの歌を広く学ぶ						
第9回	保育環境と教材3 幼児期における器楽体験						
第10回	保育環境と教材4 総合的表現としての劇あそびを体験的に学ぶ						
第11回	保育環境と教材5 劇あそびにおける表現方法を討議する						
第12回	指導計画と立案1 保育内容表現の指導計画例に学ぶ一指導計画案の構成と内容について一						
第13回	指導計画と立案2 模擬授業発表						
第14回	指導計画と立案3 模擬授業について討議						
第15回	まとめ 学習内容のふりかえり						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
到達目標を念頭におき、体験活動への意欲や授業記録の内容・取り組みで判断する			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	30	40	
授業外学習			テキスト、教材				
ボランティア実習等で幼稚園・保育所等、幼児のいる場所での観察を心掛け、幼児期の表現の特徴を把握するように努める			幼保連携型 認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針(チャイルド社) プリント配布				
参考書			受講生へのメッセージ				
幼稚園教育要領解説(文部科学省) 新・保育内容シリーズ5音楽表現(一芸社)			毎回出席し、自分の役に立つ記録を取ること				
キーワード							
豊かな感性、表現する力、創造性							